

海ごみシンポジウム



持続可能な社会の実現をめざして イオンの取り組み

2016年1月24日
イオン株式会社
グループ環境・社会貢献部
金丸 治子

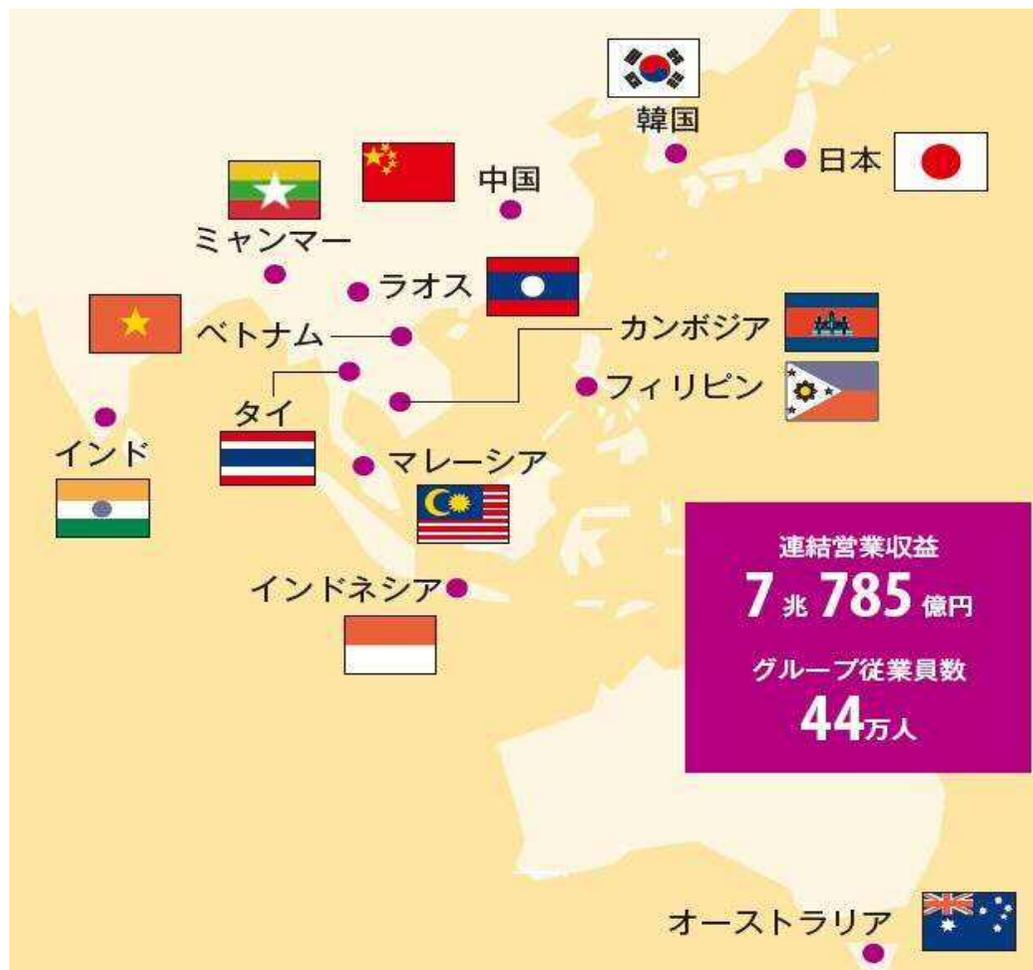


木を植えています

私たちはイオンです

イオンの概要

- ・関連企業 13か国 約300社
- ・店舗数 合計18,740店舗/カ所



合計 18,740店舗 / カ所

● GMS(総合スーパー)	618店舗
● SM(スーパーマーケット)	2,030店舗
● DS(ディスカウントストア)	381店舗
● HC(ホームセンター)	121店舗
● CVS(コンビニエンスストア)	4,683店舗
● 専門店	3,932店舗
● ドラッグストア	3,347店舗 ^{※1}
● その他(小売)	919店舗
● モール型SC(ショッピングセンター)	207カ所 ^{※2}
● NSC(近隣型ショッピングセンター)	155カ所 ^{※3}
● 金融	698カ所
● サービス	1,640カ所
● その他	9カ所

※1 友好提携会社を含む

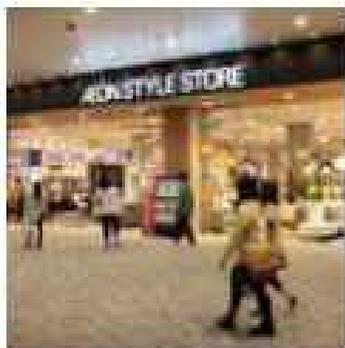
※2 名称が「イオンモール」のSCに加え、
総賃貸面積20,000m²以上のものを含む

※3 名称が「イオンタウン」のNSC

連結子会社、持分法適用関連会社の店舗および
駐在員事務所の数

(2014年度末)

日々の暮らしをサポートする事業を13か国で展開



GMS事業
(総合スーパー)



SM(スーパーマーケット)・DS(ディスカウントストア)・小型店事業



総合金融事業



デパート・ロッパ事業



サービス・専門店事業



アセアン事業



中国事業

イオンの基本理念

イオンとは、ラテン語で「永遠」

●小売業の繁栄は、**平和**の象徴

終戦（1945年）の翌年、「岡田屋」が実施した大売出しでのこと。チラシを握りしめ「やっと 平和が来ましたね」と涙するお客さまの姿もあった。

●小売業は人間同士のつながりを基盤とする「**人間**」産業

●地域に根ざし、地域とともに発展する「**地域**」産業

イオンの基本理念



お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。



イオン(AEON)とは、ラテン語で「永遠」をあらわします。

私たちの理念の中心は「お客さま」：イオンは、お客さまへの貢献を永遠の使命とし、最もお客さま志向に徹する企業集団です。

「平和」：イオンは、事業の繁栄を通じて、平和を追求し続ける企業集団です。

「人間」：イオンは、人間を尊重し、人間的なつながりを重視する企業集団です。

「地域」：イオンは、地域の暮らしに根ざし、地域社会に貢献し続ける企業集団です。

イオンは基本理念のもと、絶えず革新し続ける企業集団として、「お客さま第一」を実践してまいります。 4

イオン サステナビリティ基本方針

方針

私たちイオンは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念のもと、多くのステークホルダーの皆さまとともに、持続可能な社会の実現を目指します。

取組みにあたっては、「低炭素社会の実現」、「生物多様性の保全」、「資源の有効利用」、「社会的課題への対応」を柱とし、グローバルに考え、それぞれの地域に根ざした活動を積極的に推進してまいります。

2011年3月1日制定

重点課題

重点課題①

低炭素社会の
実現



重点課題②

生物多様性の
保全



重点課題③

資源の
有効利用



重点課題④

社会的課題
への対応



取組

店舗で

商品で

お客さまとともに

CO₂を減らそう

低炭素社会の実現

イオンのecoプロジェクト

2012年より開始
2020年度に向けたエネルギー方針



太陽光パネル

2004年より開始
全国1,044店舗(2015年2月末現在)
発電能力 合計55,868kW



スマートイオン

2013年より開始
地域と協働して、
エネルギーの効率的な
利用や防災対応を行う
次世代の店舗



LED照明

全国約1,200店舗の基本照明、
スポットライトを
順次LED照明に変更



大大

自然の恵みを守ろう

生物多様性の保全

FSC®認証

2008年より開始
森を守るために適切に管理
された木を原料とした商品



MSC認証

2006年より開始
持続可能な漁業で獲られた
水産物(天然魚)



ASC認証

2014年より開始
責任ある養殖により生産
された水産物(養殖魚)



植樹活動

「イオンふるさとのおまづく」
「ECCO」イオン環境財団の協賛活動

1991年より開始
お客さまとともに1,086万本植樹
(2015年2月末現在)



イオン チアーズクラブ

1996年より開始
子どもたちに環境学習や体験の場を提供
約430クラブ、約7,600人の
子どもたちが参加(2015年2月末現在)



トップバリュ グリーンアイ

1993年より開始
安全・安心で環境にやさしい
農・水・畜産物を食べへ



小学生の田んぼ活動

2008年より開始
お米づくりを通じて自然の恵みや
食の大切さを学ぶ



買物袋持参運動

1991年より開始
レジ袋削減枚数24億825万枚(2014年度実績)



マイオー・マイエコネット



エコリターンズ

店頭資源回収

1991年より開始
紙パックや食品トレイなどの回収ボックスを設置

2014年度実績(提携子会社中の23社の合計)

紙パック 約1億3,819万本	食品トレイ 約3億6,783万本
アルミ缶 約2億7,136万本	ペットボトル 約1億3,823万本



資源を大切に使う

資源の有効利用

ご当地WAON

2007年より開始
ご当地WAONカードの
売り上げの一部を地域の活性化に
2015年2月末までの累計で
約6億9,100万円を寄付



フェアトレード

2004年より開始
トップバリュ フェアトレード
お買物を通じて国際貢献につながる商品



災害復興支援

支援総額(復興費)約55億8,037万円
内、お客さまからお寄せいただいた
募金額14億5,000万円

「3.11復興への思いをカタチに」
「イオン ふるさとのおまづく」(約107万,357本)
「ボランティアの集い」(約13万7,052人)



イオン 幸せの黄色い レシートキャンペーン

2001年より開始
累計で24億9,435万円相当の
品物を贈呈(2015年2月末現在)



よりよい社会をつくろう

社会的課題への対応

イオン サステナビリティ基本方針

商品の取り組み

～海を守るために～



容器・資材の削減

～ CO2の削減やゴミになるものを減らすために ～



インスタントラーメン
調味料袋の削減



1個当り9g-CO₂
= 7.87t-CO₂削減

衣料用洗剤
スプーンなし



1個当り10g-CO₂
= 37.3t-CO₂削減

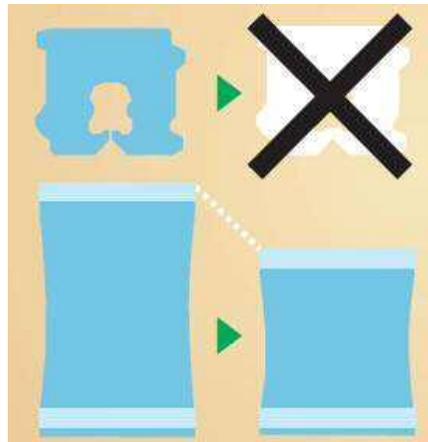
ティッシュペーパー5P
紙箱の使用中止



1個当り33g-CO₂
= 65.08t-CO₂削減

包装資材の削減

～ 石油資源の節約やゴミになるものを減らすために ～



留め具をなくし、
袋を短くすることで、
包装資材の重量を
一般品の半分に削減



トレーフィルム包装
から三方包装への
切り替え

CO2の見える化:カーボン・フットプリント(CFP)

2008年 4月:経済産業省主催の研究会に参加

2009年10月:お歳暮カタログで3種類(あきたこまち、キャノーラ油、衣料洗剤)販売

2010年 1月:トップバリュ・グリーンアイ特別栽培米で、国内初のCFP商品店頭販売

2010年12月:トップバリュ・グリーンアイ宮崎県産ピーマンで、国内初のCFP付野菜発売



宮崎県産

トップバリュグリーンアイピーマン

環境:

カーボンフットプリント表示でお客さまのCO2削減をお手伝い。

経済性:

ムダを省くことでCO2とコストを削減。価格も削減へ。

安全・安心:

原材料から、細かく把握することでトレーサビリティを担保。

イオン サステナビリティ基本方針
店舗の取り組み、お客さまとともに
～海を守るために～



1991年から買物袋持参運動を開始



レジ袋削減の取り組み

2014年度実績 (連結子会社中の26社の合計)



レジ袋をご希望のお客さまには植物由来素材(バイオマス)のレジ袋を有料で提供

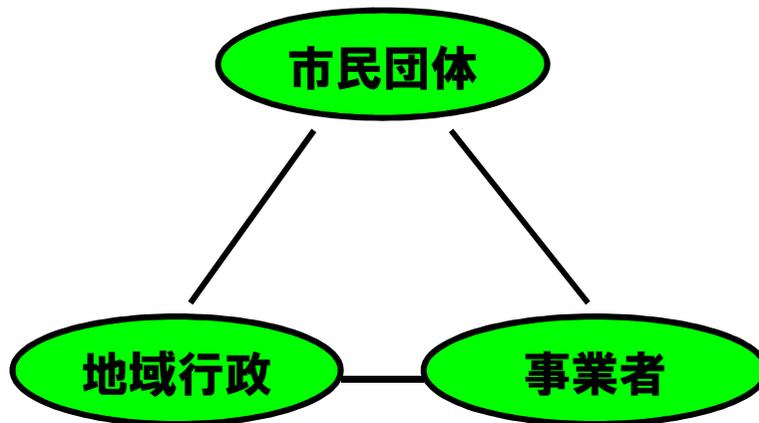
レジ袋の収益金を自治体などを通じて地域の環境保全活動に全額寄付

2009年から2015年2月までの有料レジ袋の収益金累計

約**5億7,880**万円

レジ袋削減の地域協定を締結

- ① 市民団体、地域行政、事業者の3者で
レジ袋削減の協議会を設置
- ② 同協議会で多数回に渡る協議を実施
- ③ 3者が「レジ袋削減の協定」を締結し、
無料配布中止を開始



イオングループの中の26社合計
1,392店舗で無料配布中止
 (2015年2月末)

レジ袋削減の取り組み

2014年度実施
マイバッグ デザインコンテスト

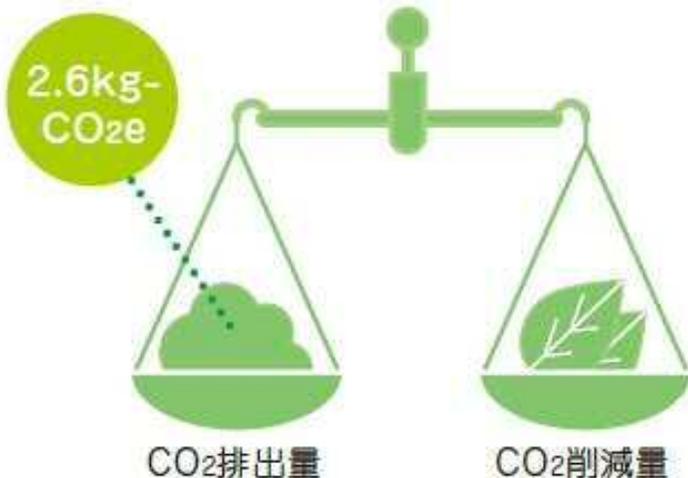
「バイオ・マイバスケット」で

「どんぐりキャンペーン」に参加



バイオ・マイバスケット

「バイオ・マイバスケット」の
カーボン・フットプリント算定結果



「どんぐりキャンペーン」とは

経済産業が実施している事業で、「カーボンオフセット」によって、商品・サービスから排出されるCO₂を実質「ゼロ」にした目印として、「どんぐり」のマークをつける取組。

店頭リサイクル回収（資源の循環）

アルミ缶や紙パックを店頭で回収して、資源の循環に役立っている。

2014年度実績（連結子会社中の23社の合計）



一部は、
トップバリュの
原料として使用。



イオン サステナビリティ基本方針
その他の取り組み
～海を守るために～



イオン・デー(毎月11日)

毎月11日を「イオン・デー」と名づけ、エコロジー(環境)とローカル(地域還元)をテーマに様々な活動を実施。

■従業員の「クリーン&グリーン活動」



イオン・デー(毎月11日)

■イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン



地域社会に
貢献する
団体を応援
したい

サポートを
必要と
している



2012年より
イオン中国でも
キャンペーン
開始

海を守る活動
全国で約50団体
が登録

2001年～2015年2月末までの累計で**24億9,435万円**
相当の品物を贈呈 (2014年度は**2億7,790万円**贈呈)

イオン チアーズクラブ

- 子どもたちがイオンのお店の周りで。環境について考えるクラブ。
- 子どもたちが環境に興味を持ち、考える力を育てることを目指す。



海岸の清掃活動に参加



全国大会で学習成果を発表



にんにくの収穫を体験



屋久島で生物多様性研修を実施

「活動テーマ」

1年目	ゴミ
2年目	リサイクル
3年目	資源(エネルギー)
4年目	太陽と自然
5年目	植物
6年目	動物(魚、鳥、昆虫などを含む)

6年を1サイクルとして、
毎年活動テーマは変わります。

全国で約430クラブ、約7,600人の子どもたちが活動に参加
(2015年2月現在)



イオンマレーシア チアーズクラブ

マレーシア、
中国でも
活動を実施

自治体との包括提携協定

全国各地の自治体と双方の資源を有効活用する協定を締結

- ・ 防災、福祉、環境保全の推進
- ・ 「ご当地WAON」のご利用額の一部を寄付し、商業・観光の振興などに活用していただく、など

⇒1道2府41県15政令市と包括提携協定を締結

(2015年2月現在)

ご当地WAONの一例

岡山市



「桃太郎のまち岡山WAON」

ご利用金額の一部が岡山県岡山市の住みやすく活力あるまちづくりに活用されます。

群馬県



「ぐんまシルクWAON」

ご利用金額の一部が群馬県に寄付され、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」および「ぐんま絹遺産」の保存と活用に役立てられます。

総合防災訓練



三重県で訓練の様子

全国で**101種類** 累計発行枚数: **約360万枚**
 2014年度の寄付金額: **2億4300万円**



あなたの毎日のお買い物が、あなたのふるさとを元気にします。

里山里海ISHIKAWAON



石川県の里山里海保全活動に役立てられます。

室戸ジオパークWAON



室戸ジオパークの保全活動に役立てられます。

ふくしま湖美来(みずみらい)WAON



きらめく水のふるさと「磐梯」湖美来基金に寄付され、福島県の猪苗代湖や裏磐梯湖沼の水環境の保全に活用されます。

しがマザーレイクWAON



琵琶湖の環境保全や、文化財の保存・活用のために、滋賀県の「マザーレイク滋賀応援基金」に寄附されます。

終わりに...



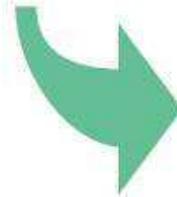


新しいお店がオープンする時に、お客さまとともに

お店の敷地に木を植える「イオン ふるさとの森づくり」



2006年



お店とともに
地域に根づいて
います

イオンモール浦和美園の植樹活動とその後

イオンの植樹活動 **こだわり**



1 地域の自然環境に最も適した、その土地本来の樹木の植樹を行っています。

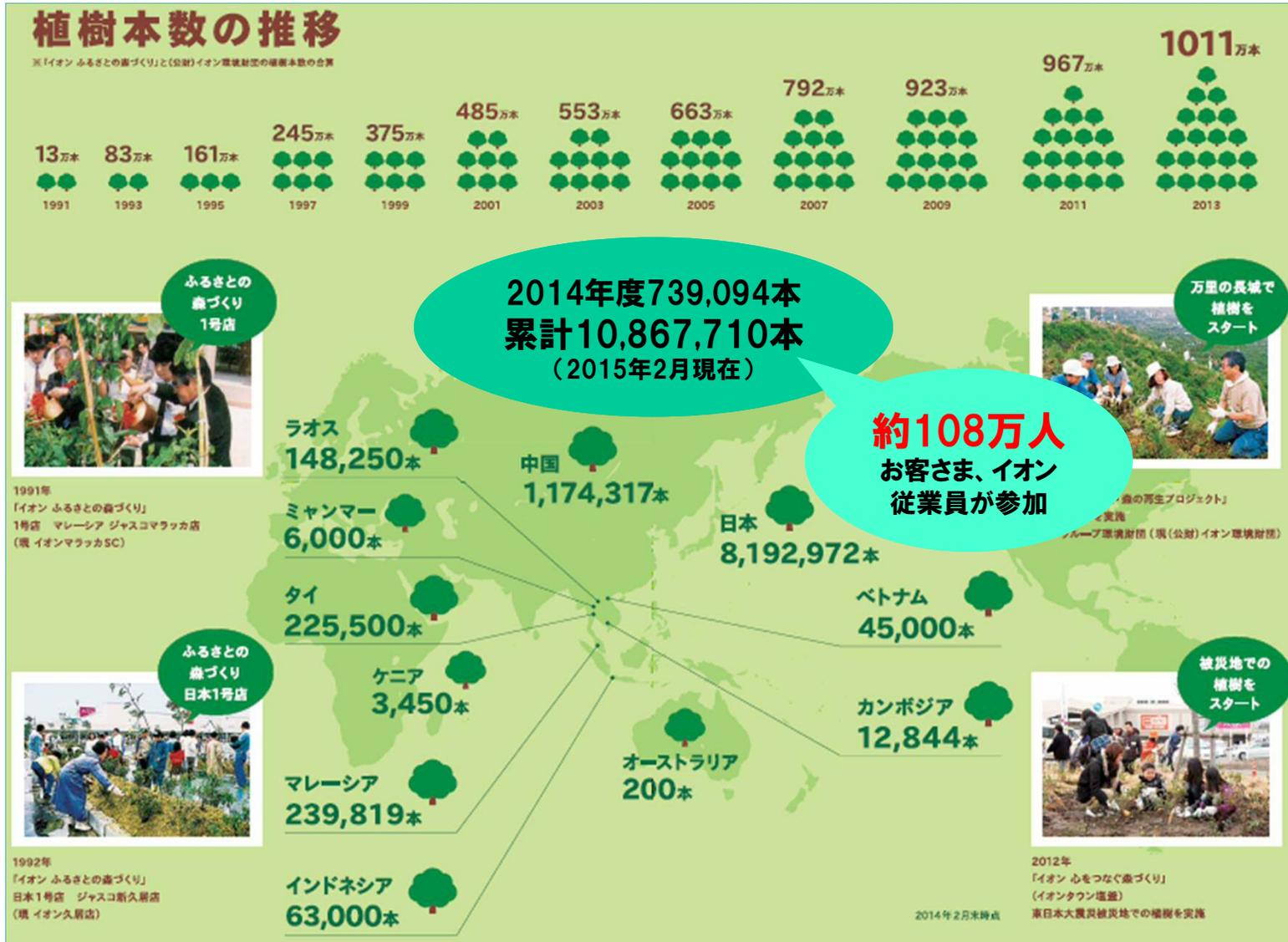


2 その土地本来の樹木を数十種類とりまぜて植えることで、成長を競い合わせる方法を取り入れています。



3 それぞれの地域のお客さまが主役となり、小さな苗木を1本1本植えていただきます。

1000万本、その次へ。～「植える」「育てる」「活かす」



※1991年マレーシアから始まったイオンの植樹活動は、現在、国内外11か国。



お店で・商品で・お客さまとともに イオンのWaterStyle宣言

地球にもっともやさしい企業であり続けたい。

日々のくらしのあらゆるシーンで、
イオンは皆さまと深く関わっています。
だからこそ、かけがえのない水の恵みを
未来へとつなぐのは、
私たちの使命でもあるのです。

森に育まれた水が川となり、
里や街を潤しながら海へ注ぎ、
やがて湖となって森へ還る。

水が循環するさまざまなステージで、
イオンはもっともやさしい企業であり続けたい。
1000万本を超える植樹もその一つ。
こうした活動が私たちの豊かな未来へつなぐと信じて。

お店で、商品で、お客さまとともに、
イオンは、これからも、
水のライフサイクルを共創していきます。



ご清聴ありがとうございました。

AEON



木を植えています

私たちはイオンです